

## 2021年9月ドミニカ共和国内政、外交、経済定期報告

在ドミニカ共和国日本国大使館

### 1 内政

(1) 1日、検察庁は、国家特別区及び他県において、前政権下での汚職について捜査中の「反オクトパス作戦」に関連し、新たに24件の家宅捜索を実施したと発表。

(2) 2日付「エル・ディア」紙は、アルモンテ・エネルギー・鉱山大臣が、プンタカタリーナ石炭火力発電所の建設及び運転の技術監査の実施に係る入札の終了を発表した旨報道。

(3) 2日、野党ピチャルド国民勢力党 (FP) 国際部長は、マンサニージョ港の拡張工事に係る北米の軍技術者の参加について、外国の軍事的存在は常に主権国家にとって懸念すべき点であることを指摘しつつ、ドミニカ (共) にとって米国が特別な存在であることは確かだが、一方で中国を無視することはできないと発言。

(4) 2日、上院議会は、ワクチンで予防できる病気から国民を適切に保護するための予防接種法案を承認。

(5) 3日、アビナデル大統領は大統領令 (538-21) を発表し、プンタカタリーナ石炭火力発電所を管理するための信託を創設するとともに、実業家のセルソ・ホセ・マランジーニ・ペレス氏を技術委員会委員長に任命。

(6) 6日、アビナデル大統領は、大統領の広報政策の調整及び実施を単一機関に統合するため、通信総局 (DICOM)、報道・分析・戦略編成総局 (DIAPE) 及び大統領府広報室の廃止を発表。

(7) 6日、アビナデル大統領は、ミラグロス・コンスエロ・ヘルマン政府報道官をカルメン・エレディア・デ・ゲレーロ文化大臣の後任に任命し、エレディア前文化大臣を国立宮殿に籍を置く文化政策大統領顧問への任命を発表した。(両者は10月10日に就任。)

(8) 8日、検察庁は、「ファルコン作戦」の名の下で実施されている麻薬摘発捜査により麻薬密売ネットワーク及び資金洗浄の関与が疑われる元下院議員を含む14名を逮捕。

(9) 9日、国家特別区第三裁判所の代理裁判官は、行政機関の汚職摘発を目的とした反オクトパス作戦で逮捕されたアレクシス・メディーナ氏及び他の被告に対して、検察庁による調査継続のための延長申請を承認。また、同裁判官は、反

オクトパス作戦の捜索に協力したとして、フランシスコ・パガン公共事業監察技師局（OISOE）前総局長、アレハンドロ・クリストフェル・サンチェス OISOE 前監査課長、フリアン・スリエル・スアソ氏を自宅拘禁に変更することを決定。

（10）14日、下院議会は、国際復興開発銀行（IBRD）による国立水力資源研究所が実施するレジリエントな農業及び水資源の統合管理プロジェクトに対する80百万米ドルの融資を承認。

（11）15日、アビナデル大統領は、国家判事評議会の再構成、高等裁判所の運営に係る再編成、検察庁の独立の保証、内外の統制機関の強化等の改革について各セクター代表者と協議を行うため、国家対話を実施。

（12）15日、アビナデル大統領は、ドミニカ（共）を訪問したアドリアーノ・エスパイラット米議員らと汚職、経済、貿易、COVID-19に関する問題について協議。

（13）27日、ベニテス・ドミニカ農業企業委員会（JAD）会長は、米州開発銀行（IDB）から50百万ドルの融資を受け、農務省を通じて農業の健全化を強化するプログラムを実施すると発言。同プログラムは、2019年10月24日に議会により承認を受けている。

（14）28日、バスケス内務警察大臣は、外国人労働者の正規化や約6カ月の外国人妊婦の入国防止等に係る措置を発表。

（15）28日、カブレラ・ウジョア薬物取締局（DNCD）長は、国内における犯罪の75%が違法薬物に関連していると報告。

（16）29日、アビナデル大統領は、サンティアゴ県の公共交通の近代化を図るため、ケーブルカーの建設開始を発表。

（17）29日、アビナデル大統領は、「エクスポシバオ2021」の開会式に参加。インフラ整備等の実施を目的とした「サンティアゴ2025」プロジェクト（4年間で投資額42,000百万ペソ）を発表。

## 2 新型コロナウイルス

（1）1日、厚生省は、新型コロナ変異株「ミュー株」が、国内5県で確認されたと報告。

（2）2日、観光省は、新型コロナワクチンの追加接種（3回目）を観光セクターの全ての従業員に適用するワクチン接種プログラムを発表。

（3）3日、ドミニカ（共）政府は、ハイチ、ホンジュラス及びグアテマラに対する合計50万5千回分の新型コロナワクチンの供与を発出。

（4）15日、厚生省は、新型コロナウイルスによる死者数について、世界保健機関（WHO）の国際ガイドラインに従ってデータ収集が実施されていると報告。

(5) 16日、厚生省は、ドミニカ（共）国内4県における5件のデルタ株の感染確認及び市中感染を発表。

(6) 20日、リベラ厚生大臣は、ドミニカ医療審議会（CMD）による6歳から11歳の児童を対象としたコロナワクチン接種奨励について協議中であると報告。

(7) 25日付「リスティン・ディアリオ」紙は、21日時点で18歳以上の人口68.6%が第1回目接種、57.2%が第2回目接種を完了している旨報道。

(8) 29日、リベラ厚生大臣は、ラ米諸国で初となる新型コロナ治療薬「REGEN-COV」（初期投資額85百万ペソ）の購入を発表。

(9) 30日、厚生省疫学総局は、当国の新規感染者が累計症例数359,047名（うち死者4,046名、治癒者349,404名）となった旨発表。

### 3 外交

(1) 8日、アビナデル大統領は、ラ米の気候変動に関するハイレベル対話に出席。気候変動は人類にとって課題であり、コロナ感染拡大後の経済回復は環境に配慮しなければならないと発言。

(2) 8日、アルバレス外相はコスタリカを訪問し、経済・政治・社会問題を協議するためパナマ及びコスタリカの外相と会合。

(3) 9日、外務省は、ドミニカ（共）が国際自然保護連合（IUCN）の北米・カリブ海代表に再選されたと発表。

(4) 15日、アビナデル大統領は、フリオ・デ・ヘスス・ペーニャ・グスマン氏を国際民間空港機関（ICAO）のドミニカ（共）代表部の大使に任命。

(5) 16日、バスケス内務警察大臣は、フェルナンド・グランデ・マルラスカ＝ゴメス西内務大臣を訪問。西政府は、ドミニカ（共）の国家警察改革及び専門化プロセスに貢献するための技術支援を行うことを約束。

(6) 18日、エストレージャ上院議長は、ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体（CELAC）の第6回首脳会合にアビナデル大統領の代理として出席し、Covid-19のパンデミックにより経済的・社会的影響を受けたラ米・カリブ海地域の国々の経済回復のための特別基金の創設を提案。

(7) 21日、アビナデル大統領は第76回国連総会に出席。アルバレス外相、パリサ大統領府官房大臣、ホセ・ブランコ・ドミニカ（共）国連大使が同席。

(8) 23日、アビナデル大統領、アルバラード・コスタリカ大統領、コルティソ・パナマ大統領は、第76回国連総会の枠組みにおいて会合。共同声明を通じてハイチ危機について深い懸念を表明。

(9) 米国

ア 8日付「オイ」紙は、7月に麻薬取引に関与したとして米国で逮捕されたミゲル・グティエレス・ディアス与党 PRM 下院議員について、米検察庁が南フロリダ州裁判所に対し、同氏の裁判を翌年4月まで延長し判決に係る準備に時間をかけるよう要請したと報道。なお、同氏の裁判は9月13日に予定されていた。

イ 9日、米国防省は、15隻目のボストンホエラーミサイル艇をドミニカ（共）海軍に供与。同ミサイル艇は68万米ドルに相当し、海上阻止行動や捜索救助活動に使用される予定。

ウ 14日、米務省は、ドミニカ（共）への渡航警戒レベルをレベル2に引き下げ。

エ 15日、ジョン・F・カニグ米麻薬取締局（DEA）カリブ海代表及び特別捜査官は、カブレラ・ウジョア当地薬物取締局（DNCD）長と麻薬密売、資金洗浄、その他の関連した犯罪を罰するための共同行動の強化について協議。

オ 16日、当地米国大使館は国防省に対し、国境のセキュリティ向上のためジープ8台を供与。約51万米ドル相当の車両供与は、米南方軍とドミニカ（共）軍隊の協力の一部であり、ドミニカ（共）は過去5年間に米務省を通じ250万米ドル以上の支援を受けている。

カ 22日、バイデン米大統領は、元ジョージア州議員のカルヴィン・スマイア氏を当地米国大使に指名すると発表。

キ 28日、ブリンケン米務長官は、アルバレス外相と会談。汚職との闘いにおけるドミニカ（共）のリーダーシップを称賛。

#### （10）中国

ア 14日、中国政府は当地農務省に対し、アフリカ豚熱（ASF）対策に係る支援として10万米ドルを供与。

イ 20日付「リスティン・ディアリオ」紙は、Zhang Run 当地中国大使による、中国とドミニカ（共）の協力に関する寄稿文を掲載。同大使は、将来的にはアフリカ豚熱（ASF）の予防及び管理、中国への当地農産物の輸出や農業技術に焦点を当てると言及。

ウ 25日付「リスティン・ディアリオ」紙は、Zhang Run 当地中国大使による中国の対ドミニカ（共）経済技術協力、貿易及び外交に関する協定の署名等に関する寄稿文を掲載。

#### （11）ハイチ

ア 2日、アビナデル大統領は、ドミニカ（共）当局はハイチの犯罪組織を認識しており、国境地帯にドミニカ（共）軍隊を配置していると警告。

イ 7日、ハイチの保健当局は、ドミニカ（共）政府が発表したハイチに対するコロナワクチンの供与を認識しておらず、また、数千回分のモデルナ社ワクチンを保有していることから供与のオファーを断る意向を表明。

ウ 軍及び入国管理局は、11日から13日の間にバルベルデ件、サンティアゴ・デ・ロドリゲス県、モンテクリスティ県、ダハボン県の国境を越え不法入国を試みるハイチ人4,438人を逮捕し送還したと発表。

エ 30日付「ディアリオ・リブレ」紙は、貨物会社のドミニカ人運転手であるウィルソン・ロドリゲス氏が22日にハイチで誘拐され、誘拐犯は身代金として20万米ドルを要求していると報道。

#### 4 経済

(1) 1日、中銀は、2021年7月に12.1%の国内成長率を記録したと発表。1月から6月までの成長率は13.1%を記録。

(2) 9日付「エル・カリベ」紙は、財務省のマクロ経済予測について2021年末のGDPは87,778.6百万米ドルで前年比8,954.1百万米ドルの増加が予測されている旨報道。

(3) 14日付「リスティン・ディアリオ」紙は、中銀の報告について、2020年6月には石油を除く輸入が63%増加し、1月から6月までは31%増加した旨報道。

(4) 13日、中銀は、2021年8月の家族送金額が、872百万米ドルを記録し、前年同月比102.2百万米ドル増加したと報告。2021年8月までの家族送金額は、7,031.5百万ドルを記録。

(5) 12日、クルス農務大臣は、2021年の5ヶ月間の農作物の対米国輸出は、969百万米ドルで前年同期比37%の増加を記録したと発表。

(6) 14日付「オイ」紙は、ドミニカ輸出・投資センター(Prodominicana)の統計について、2021年の6ヶ月間で外国直接投資額が1,617.5百万米ドルを記録し、2021年末には2,925.3百万米ドルを記録すると予測している旨報道。主な投資国は米国、伯、西、仏。

(7) 14日付「ディアリオ・リブレ」紙は、中銀報告について、2021年6月末の連結公的債務は59,648.5百万ペソで過去最高額を記録した旨報道。

(8) 27日付大統領府プレスリリースは、リランソ・フリーゾーン協会(CNZFE)会長が、税関総局(DGA)のデータに基づき、フリーゾーンセクターにおける輸出が28.4%増加したと発表した旨報道。主な輸出増加品はタバコ・関連品、繊維類、アルコール飲料、電気製品、医療機器。

(9) 28日、アビナデル大統領は、2021年9月時点で新型コロナウイルス感染拡大以前よりも正規雇用者が8,318人上回っていると発言。社会保障経理局(TSS)によると、2020年2月時点での正規雇用者が1,518,312人、2021年9月時点で1,526,630人を記録。

(10) 29日、経済企画開発省が発表した報告書によると、国内の新型コロナ

ウイルスの経済的影響は18,459百万米ドルで、感染拡大における経済損失は80.3%を記録。

(11)30日、中銀は、国内のメディアで宣伝されている様々な暗号資産及び仮想通貨は、中銀の後ろ盾を受けていないと発表。